

土・まち・みどり

通信第 36 号

2009. 8. 3

発行 NPO 法人

土とみどりを守る会

連絡先 3718-8558(柳島)

CONTENTS ◆土とみどりのミニ園遊会 ◆おくさわ今と昔 ◆NPO提案型協働事業について
◆活動報告 ◆会からのお知らせ

土とみどりのミニ園遊会

5月のつどい



(いつもながらの受付風景)

5月16日はうす曇りで、戸外の催しには理想的な天候でした。NPOになって初の総会が終り、ミニ園遊会の始まりです。年を追う毎に来場者が増え、今年は昨年にまさる大盛況になりました。売店のお客様にはリピーターも多く、混雑の中で品物は次々に売り切れてしまいました。お花の苗も大人気で、一株も残らず買われていきました。今頃は夏のお庭を彩っていることでしょう。

園遊会のもう一つの柱はパネル展示で、ことしは奥沢のまちの風景を中心に展示しました。園遊会は今年で4回目になりました。会に御協力下さる皆様への感謝をこめて原価販売していた花苗に今回は10円ずつのカンパを、御提供下さった頒布苗には30円のカンパを頂きました。セントポーリア33鉢の御寄贈があって市価よりお安い値段で販売してこれも収益が上り、お陰様で会の運営費がうるおいました。ありがとうございました。

忙しくて手が廻らないうちに時間が過ぎ、皆様に一休みして頂いたり、お話をうかがうなどの係の余裕が無くて、大変申しわけ無く後悔しています。次回はごゆっくりして頂けるよう準備致します。又“行ったらもう何も無かった”とのお声を何人もの方から聞きました。催しの時間内にお出で下されば御希望の品があるように、そして終りに残らないようにするにはどう

したらよいのでしょうか。アイデアをお聞かせ下さい。

何はともあれ無事に賑やかに終了できましたのは、土地を提供して下さいった地主さん、賑やかな時間を辛抱して下さいった会場周辺の皆様、この日のためにセントポーリアを挿芽から育てて下さった5丁目の山田さん、忙しい中を手作りした食品を販売して下さいった方々、お手伝い下さった方々、そして御来場下さった多くの皆様の御協力の賜でした。心から感謝申し上げます。(柳島)



(NPO初の総会
代表と副代表)



(販売を待つ花苗)



(奥沢の街並みなどの展示)



(ミニ園遊会; 売店コーナー苗コーナーの賑わい)

おくさわ今と昔

このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方と新しく移ってきた方々など、毎回2人の住民の方が登場し、このまちにちなんだエピソードを語っていただきます。

九品仏池の一生

奥沢にお住まいの方には九品仏浄真寺の北側にあった九品仏池は、釣りをしたりボートに乗ったりして遊んだ懐かしい場所でしょう。池の誕生から、10年後、20年後そして消滅までを纏めてみました。10年後の昭和15年頃の様子は、第34号で鈴木和夫さんの「私の子供の頃の思い出」に掲載されています。

1. 九品仏池の誕生

九品仏池はいつどのようにして誕生したのでしょうか。これには二つの説があります。湿地であった九品仏川の周辺を客土して畑や宅地を作った、もう一つは東急東横線自由が丘駅の高架化するための土盛をするために池を掘ったという説です。今の玉川地区が昔玉川村と言われていた頃、村全体で大規模な耕地整理事業が行われました。その事業記録である「郷土開発・耕地整理沿革概要」に、昭和7年9月6日等々力北区第1工区工事着手（浄真寺の北側にある深さ一丈以上の不毛田約八町歩の一部を掘さくし、掘さく土を以って埋め立てを行い畑地に変換した。掘さくの跡が現在いわゆる九品仏池で面積3,440坪である。）と記載されていました。一方昭和2年に開通していた東急東横線は、二子玉川線建設のために今の自由が丘駅を5.79m高上げし昭和4年4月竣工した（東急五十年史）と書いてあります。池は耕地整理でできたと思われます。

2. 昭和27年頃の九品仏池

子供の頃を尾山台に住み九品仏でよく遊んだ中村さんに、当時の思い出を詳細な絵と共に書いて頂きました。

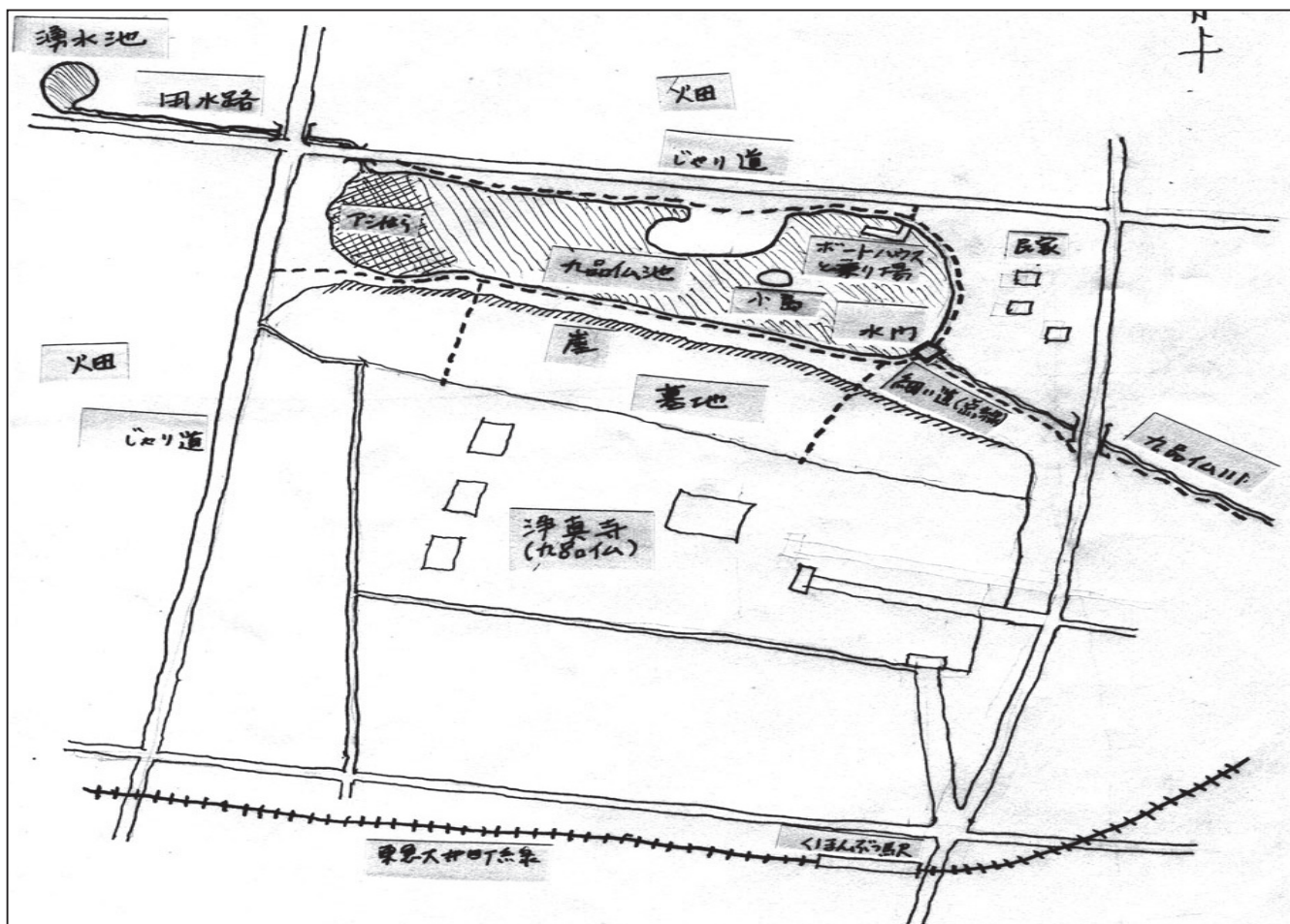


図1 昭和27年頃の九品仏池とその周辺

九品仏池の思い出

駒沢二丁目 中村卓実

私が尾山台小学校の4年、5年（昭和27・28年）の頃、図画の授業時間に先生に連れられて浄真寺（九品仏）の境内で写生をしたり、また、学校が終わってから友だちと九品仏池へよく遊びに行きました。

池は浄真寺の墓地の北側の崖下であり、東西250m、南北100mほどの大きさで、まん中に小さな島が一つありました。（図1）

池に入る水は、池から北西に少し離れた所にある湧水池から用水路を通してアシはら（現在のねこじゃらし公園の北側）に流れ込んでおり、そこは足を踏み入ると底なし沼のようにズブズブともぐってしまうので、誰もが怖くて近づきませんでした。

また、池の水が九品仏川へ流れ出す所には水門があり、その北側にはボートハウスと乗り場がありました。（九品仏川は現在暗渠となっています）

水門は、平面が約2m×2m、深さ約3mのコンクリート製の箱型の堰で、堰板の高さ（枚数）を変えることにより池の水位を調整していました。（図2）

周囲には細い道が回っており、墓地に沿った部分は人の高さくらいまで雑草で覆われ、歩くのに大変苦労しました。

更に離れた北側と西側にはじゃり道が通り、その道路の外側には畑が広がっており、また池の東側には

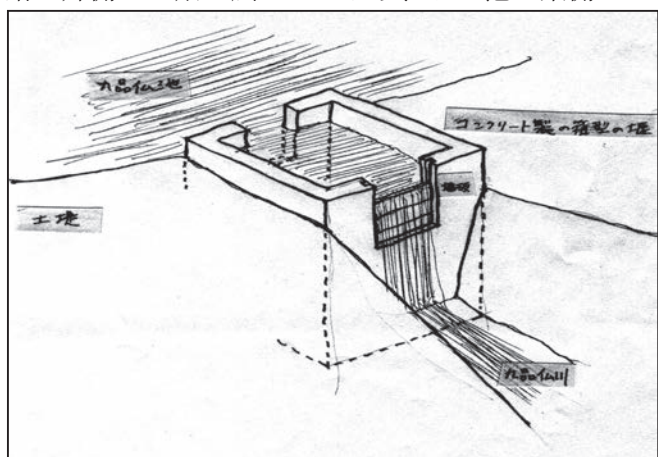


図2 水門の詳細

民家が何軒か見られました。（西側のじゃり道は現在の駒八通りで、北側の畑は現在八幡中学校となっています）

池の水中には水藻が全体に繁り、深みも見られ、くちぼそ、ふな、手長えび、らいぎよなどの魚が生息しており、水門からボート乗り場の間の土堤でミミズを餌にしてよく釣り糸を垂れたものです。

水門の堰の底には大きなアメリカザリガニが多く集まるので、スルメの切れ端をタコ糸で吊るし、ザリガニがはさみでつかんだ時にそろそろと引き上げて捕まえました。（図3）

また、夏にはしおからトンボ、むぎわらトンボ、糸トンボ、銀やんま、おにやんま、秋は赤トンボなどが多く飛び交い、中でも銀やんまはトンボの習性を利用したおとり釣りをして遊びました。

まず、おとり用の雄の銀やんまをを網で捕まえ、胴体の青い部分を血止草などを巻いて隠してから、胴体を木綿糸でしばり竹竿を回して飛ばせていると、それを雌と間違えた銀やんまが交尾しようとしておとりに絡んでくる瞬間を地面に下ろして捕まえました。

（図4）

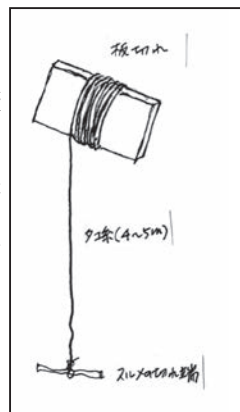


図3 アメリカザリガニガニ釣りの仕掛け

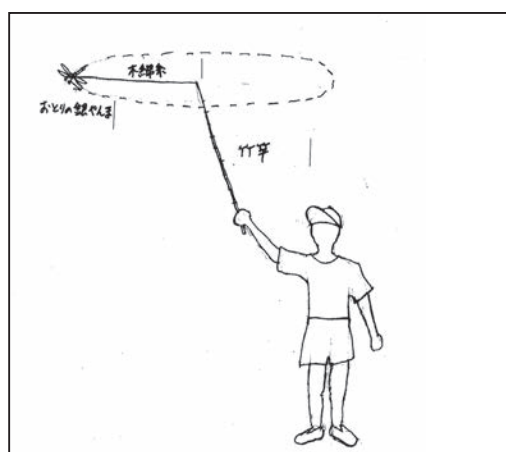


図4 銀やんまのおとり釣り

3. 九品仏池の消滅；

ボートや釣り等の遊園地として住民の憩いの場となっていた池は、その後、東京急行電鉄の所有となり、渋谷の東急文化会館の建設（1956（昭和31）年12月1日に開館）で出た残土処理のために埋め立てられ住宅地になったようです。また九品仏川も今では暗渠となり、奥沢、自由が丘、緑ヶ丘に渡る遊歩道になっており川があったことすら忘れ去られている。九品仏池は、開発によって生まれ、また開発によって消滅する運命を辿ったのでした。（鈴木）

NPO提案型協働事業について

「住宅地のみどりを守り育てるための啓発事業」採択のご報告

土とみどりを守る会はみどりの大切さをアピールし、住民が主体となってみどりを守り増やし育てるための活動に取り組んできました。一方で世田谷区は「せたがやみどり33基本計画」というみどりを増やす計画を打ち出していますが、それは公共用地や大規模宅地が中心で、奥沢のような一般住宅地への対応はあまりありません。そこで、「NPOと世田谷区との協働事業」という募集があったので、当会が取り組んできた実践的なノウハウを活かし、住宅地のみどりを増強する提案をしたところ、採択されました。(応募43件中7件採択)

世田谷区との協働事業の具体の最初として、来る10月4日に当会の定例イベントである「街並みウォッチング」の拡大版を開催することになりました。対象地域は奥沢から等々力にかけて「旧玉川村」のあたりとし、参加者は区報などで呼びかけて広く募集(抽選で60名)し、数班にわかれて街のみどりや歴史を探訪します。

また、区との協働事業として「住宅地のみどり保全活用ガイド」(仮称)というパンフレットを作成し、区の窓口等で配布することを検討しています。

当会はNPO法人となったことで、このような新たな可能性に取り組むチャンスを得ましたが、住民の手で無理なく楽しく進めていくという会の活動の基本には変更はありませんので、どうか今後ともよろしくご協力、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

また本事業では、NPO法人玉川まちづくりハウスとも協働で実施する予定で、小中学校で「原っぱ体験」のインタビュー、原っぱをテーマにしたデジタルカメラ講座、みどりを守る活動関係者の交流会等が計画されています。お互いにイベントに参加し合って連携、交流を深めたいと思います。

今後のご案内は、当会ホームページ(<http://tsuchimidori.net>)で適宜掲載していきます。又実施内容が決まった時点で、従来通りチラシの配布も行います。(堀内、鈴木)

活動報告

●NPO設立後の第1回通常総会：5月16日ミニ園遊会の前にNPOとしての第1回総会が開催されました。総会は、本人出席36名、委任状97名合計133名で会員の過半数となり無事成立となりました。ご出席と委任状送付にご協力頂き有難うございました。2008年度決算はNPO設立費用が予想外に嵩み心配されましたが収支均衡で乗り切ることが出来ました。2009年度計画は活動内容、予算とも従来通りで全員一致の承認を頂きました。

●旧小野邸の樹木譲渡：旧小野邸(奥沢二丁目40番)の新しい所有者から建設開始前に樹木を無償で譲渡したい旨の相談が当会にありました。期間が短く、移植には良い時期でとは言えなくても、当会としてみどりが少しでも引き継がれることが大切と考え、壁新聞に樹種と期日(6月27、28日、7月4、5日)を掲載したところ、短期間にも拘らず10名の方が小径木と花卉を引き取りに来られました。

会からのお知らせ

●秋の恒例行事「まちめぐり」は、今年は例年と異なり上記の要領で催します。詳細は後日チラシでお知らせします。たくさんの方の御参加をお待ちしています。
●土とみどりを守る会は、いつでも新会員を募集しています。会の活動を支える会費は1口1,000円です。どうぞ御協力をお願い致します。御入会のご連絡は下記まで。

土とみどりを守る会 連絡先
世田谷区奥沢 2-19-9 長瀬雅義 5729-0126
世田谷区奥沢 2-41-2 柳島尚子 3718-8558
ホームページ <http://tsuchimidori.net>

10年程前に、庭に植えた1個のカサブランカの球根から1本の芽が出ました。年毎にその数が増えてこと



しは太い茎が10本になり、47個の大輪の花を咲かせてあたりを芳香で包んでくれました。(Y)

[訂正] 前号「グリーンサムのお庭拝見」の記事中50cmを50m・春菊を春蘭・奥様を奥沢と誤って記載しました。お詫びして訂正します。